

経営比較分析表（令和2年度決算）

滋賀県 大津市

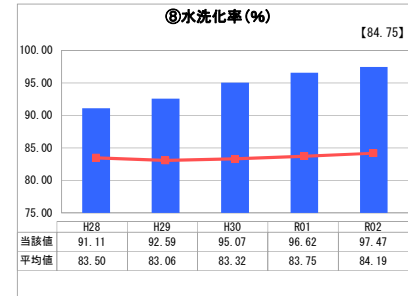
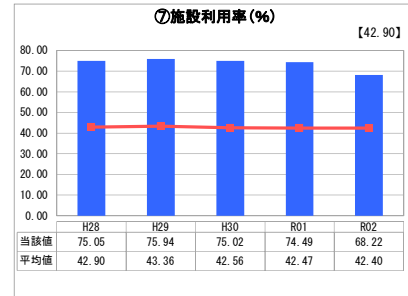
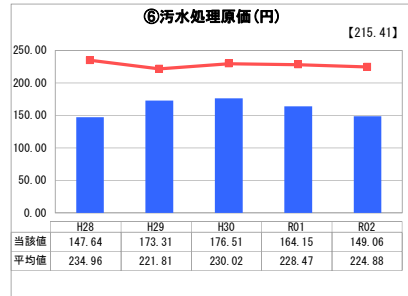
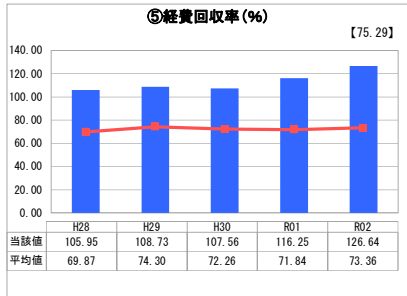
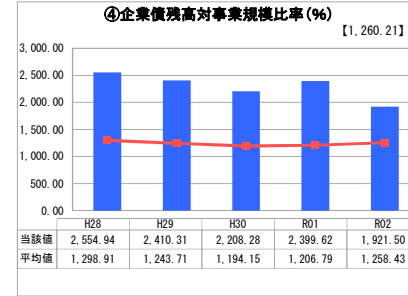
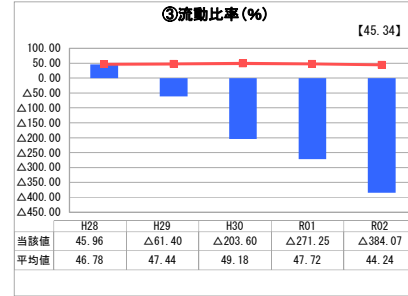
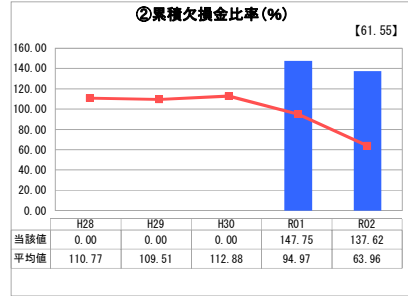
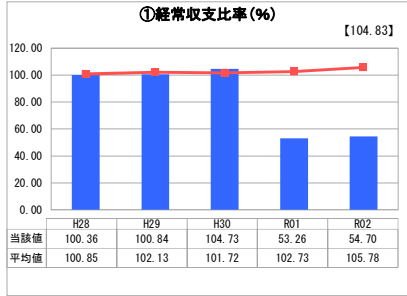
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.43	1.52	83.13	2,931

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
344,218	464.51	741.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,208	2.44	2,134.43

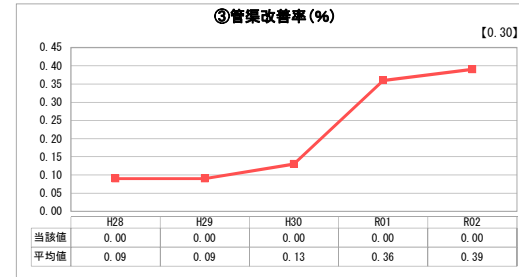
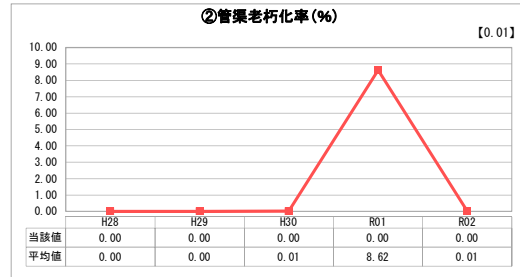
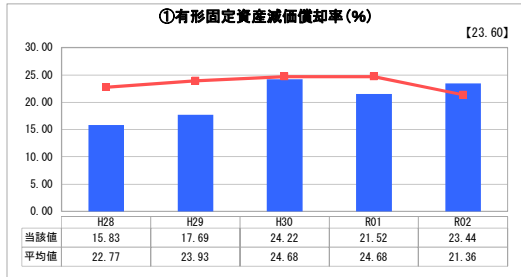
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%以上が良い状態である指標ですが、100%を下回っています。また、このことに伴い、累積欠損金が発生しています（＝②累積欠損金比率が0%でない状態となる）。さらに、③流動比率は、100%以上が良い状態である指標ですが、平成29年度から継続的にマイナスとなっています。これらは、ここ数年一般会計からの繰入金が減額されていることによるものです。

④企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の規模を表す指標で、低い方が良い状態です。企業債の発行抑制により減少傾向にありますが、全国平均及び類似都市平均を上回っています。

⑤経費回収率は、100%以上が良い状態である指標で、全国平均及び類似団体平均を上回りました。

⑥汚水処理原価は、有収水量1m³あたりの費用を表す指標で、低い方が良い状態です。全国平均及び類似都市平均を下回っています。

⑦施設利用率は、高い方が施設の利用状況や規模が良い状態である指標です。全国平均及び類似団体平均を上回っています。

⑧水洗化率は、処理区域内人口のうち汚水処理をしている人口の割合を表す指標です。着実に増加しており、全国平均及び類似団体平均を上回っています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度を示しています。前年度に比して若干増加しており、類似団体平均より上回っています。施設としてはまだ新しいため、現状は老朽化対策は実施していませんが、将来的な改築更新を見据え、費用の平準化に努めつつ、計画的かつ効率的な施設の管理を行っていく必要があります。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業とは、市街化区域以外の区域にある下水道のことで、公共下水道事業と一体で下水道事業として運営しており、各々の事業費は、全体の事業費を各種比率で按分して算出しています。

経営の健全性・効率性について、ここ数年の傾向を見ると、前述のとおり本市では一般会計からの繰入金が減額されており、繰入金の措置状況によって指標が大きく変動することから注意が必要です。このような中、令和2年度に、中長期的な経営の基本計画である「大津市下水道事業中長期経営計画（経営戦略）」（平成29年度策定）を改定しました。今後は同計画に基づき、お客様に安全で安定した下水道サービスを提供できるよう、持続可能な経営を実施していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。